

研究主題 主体的・創造的に表現・鑑賞し、音楽文化の理解を深める授業を目指して
～副主題 器楽の授業における指導と評価の一体化の工夫～

I 東京都中学校音楽教育研究会とは

東京都中学校音楽教育研究会（以下都中音研）は、東京都内全ての公立中学校の音楽科教員と、一部国立、私立の音楽科教員で構成される研究団体です。組織は、事務局、庶務部、授業研究部、事業運営部、監査となっています。そして事業運営部には、更に次の4つの部があり、それぞれ研修・研究を企画・立案・実行しています。

- 1 専門研修部
- 2 合唱部
- 3 創作部
- 4 吹奏楽部

また、研究については、授業研究部が上記4つの部と連携を取りながら、行っています。

現在授業研究部は、音楽文化の理解を深める授業を目指した授業の提案をしており、毎年2月に研究授業公開と実践研究発表会をしています。

部員は以下の地域や学校に所属しており、全都から月1回程度集まって研究を進めています。

港区、新宿区、文京区、葛飾区、大田区、足立区、江戸川区、
目黒区、杉並区、世田谷区
三鷹市、武蔵野市、西東京市、府中市、立川市、八王子市、町
田市、西多摩、都立学校、私立学校

II 研究の内容

今年度は、身体を楽器にして他者と合わせて演奏するなど「器楽」の授業を開発しています。具体的には

- ◎学習指導案と学習ワークシートの作成
- ◎適正な観点別評価・評定の在り方

を作成・検討し、2月に研究発表会を行います。特に評価・評定については、授業研究部員が自校で検証授業を行い、生徒のワークシートを持ち寄って検討を行っています。

また、毎年専門研修部と連携を取り、研究内容に沿った研修を開催し、全都の音楽科教員と共有しています。

【今年度の専門研修】

(1) 筑波大学附属小学校教諭・高倉弘光先生より、音を音楽にする音楽づくりの授業実践について、体験を通して学びました。

(2) 打楽器奏者山本晶子様、ピアニストの小林真人様を講師に招いて、ボディーズムの体験と実践を行いました。

【研究の指導】

今年度は玉川大学教授・清水宏美先生より、御講義・御指導をいただいています。

また、8月の授業研究部会では、教材の作曲者である東京音楽大学客員教授・瀧口亮介先生より、作曲の意図や指導法について、実践を交えながら御講義いただきました。

Ⅲ 研究方法と研究計画

授業研究部では、毎年研究発表を行うため、次のような研究方法により、計画を密に立てて実行しています。

【研究方法】

- ・学習指導案と学習ワークシートの立案と検討
- ・専門研修による実技研修
- ・部員による検証授業
- ・検証授業内の部員による観察
- ・検証授業により作成された生徒作品の評価検討

【研究計画】

- 4月 研究のテーマと学習内容や対象学年の設定
- 5月 研究テーマに沿った学習指導案作成
- 6月 学習指導案検討
- 7月 学習指導案と学習ワークシートの検討
- 8月 専門研修
大学教授などの御指導、御講義
模擬授業①
- 9月 学習指導案と学習ワークシート検討・完成
- 10月 各学校での検証授業開始
- 11月 検証授業と講師による指導・好評
- 12月 評価の検討
- 1月 研究冊子完成
- 2月 **【研究発表会】研究授業公開と指導・講評**
- 3月 研究の成果と課題、次年度へ向けて講師による指導

Ⅳ 実践事例

毎年成果物として、研究成果と研究授業の学習指導案、学習ワークシート、評価・評定の具体例などを載せて研究冊子を作成しています。

過去の事例は

- ・声部の役割を理解して合唱する授業
- ・声部の役割を理解して合奏する授業
- ・歌唱と鑑賞を関連させた授業
- ・旋律創作の授業
- ・世界の諸民族の音楽を鑑賞する授業
- ・日本の民謡を鑑賞する授業



などがあります。学習指導要領の基礎

研究も行い、音楽科の授業の課題を持ち寄りながら研究を進めています。

研究部員は随時募集中ですので、興味がある方は下記まで御連絡ください。

<連絡先>

団体名		東京都中学校音楽教育研究会
代表者	所属	葛飾区立大道中学校
	職氏名	校長 角 康宏
	連絡先	03-3693-3350
事務局	所属	港区立三田中学校
	職氏名	主幹教諭 砂子 美由紀
	連絡先	03-5441-7348